

心機一転			
十二支のスタート <small>ネドシ</small> 子年			
久が原地区 管内	人口	男	12,877人
		女	13,150人
		計	26,027人
	世帯	11,793世帯	
平成19年12月1日現在			

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514
題字：三木兼吉

平成二十年の新春を元気に迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新潟や能登で大地震が発生したり、食の安全を脅かす不正事件が頻発したりしました。又、人の生命が理不尽に奪われる事件も数多くありました。

しかし、久が原では幸い大きな事件事故もなく、概ね平穏であったと存じます。これも偏に地域の皆様のご努力の賜と深く感謝申しあげる次第でございます。

昨年は二十年ぶりに区長が代り、新区長は地域力を活かした街づくりを目指しています。久が原は緑豊かな街、安全安心な街、子どもがすくすくと育つ街を目指し、引き続き頑張っていきたいと存じます。

皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



新年に、歳神を迎える依代として家々の門口に立てて飾る松。松飾り。飾り松。立松。「広辞苑」より

松は、昔から常に緑であり、おめでたい木とされておられ、鎌倉時代以後になって、松に竹を加えて門松とされるようになりました。

正式な門松は、竹を三本束ねて、まわりに松をあしらひ、むしろで包んで、荒縄で三か所を結び、雄松、雌松と対立てます。

新年のあいさつ

久が原地区
自治会連合会会長
松田 慶三

歳時記「門松」

新年に、歳神を迎える依代として家々の門口に立てて飾る松。松飾り。飾り松。立松。「広辞苑」より

松は、昔から常に緑であり、おめでたい木とされておられ、鎌倉時代以後になって、松に竹を加えて門松とされるようになりました。

正式な門松は、竹を三本束ねて、まわりに松をあしらひ、むしろで包んで、荒縄で三か所を結び、雄松、雌松と対立てます。



ご存じですか?		
お正月の飾りと行事		
- 1年間の健康と幸せを願って -		
前年 12月	28日(まで)	○お正月の飾り付けに適している。 ○買出しも良い(ハは末広がりで、縁起が良いと言われている)。
	29日	○「九日(くんち)飾り」と言われ、飾り付けはされないことが多い。
	30日	○お正月の飾り付け、買出しも良い。
	31日	○「一夜飾り」と言われ、この日も飾り付けはされないことが多い。
新年 1月	6日	○お正月の飾りを下げる(昔はなるべく遅い時間が良いとされていた)。餅はまだ下げない。
	7日	○朝、【七草粥(ななくさがゆ)】を食べる。春の七草(せり、なずな、ごぎょう、はこべ(ら)、ほとけのざ、すずな、すずしろ)を入れた粥。
	11日	○【鏡開き(かがみびらき)】神仏に供えた餅を下げて、雑煮や汁粉に入れて食べる。
	15日	○【とんど(どんど)焼き】正月の松飾り・しめ縄などを集めて焼く。正月十五日に行われ、その火で餅を焼いて食べ、健康と幸福を祈るとされている。(久が原地区は今年は14日) ○【小豆粥(あずきがゆ)】を食べる。以前は、米・粟など、七種類の穀物を入れて炊いた七種粥を食べたが、近年では小豆だけを入れた小豆粥になった。

(注) ここでは、ごく一般的な行事を取りあげました。地域や風習によって異なる場合もあるかも知れませんが、ご了承ください。なお、【 】で囲んだ語句は、季語です。(富田永美)

区役所の年金加入請求によって認識させられた二十歳の誕生日から数ヶ月。俺は毎日、大学生の旨みを吸いながら、一般の学生なら「ダリ」の一言で終わらせてしまような面倒事(ポラントイア等)に首をやたらに突っ込んで、多忙な日々を送っている。しかし物事には必ず旨みがあり、それを知ると中々止められず、実際困っている。「俺はあくまで学生であって、更に勝手にやりたい事もある!しかし!」てな感じで考え出すとただでさえ最近、「そろそろ就職を考えない?」とか言う意見が出てモメている脳



小さい頃、二十歳になったら自動的に大人になれるものだと思っていました。しかし、十九歳の誕生日を迎えた後、二十歳は日々刻々と近付いてくるのに、大人はこちらへ近付いてきてはくれませんでした。

私は二十歳を迎えることはできません、このままでは大人になることはできない。そんな焦りを感じていたある日、谷川俊太郎さんの『成人の日に』という詩と出会いました。『どんな美しい記念の



成人の日に寄せて

贅沢なワガママ
森井 雄一

成人の日に寄せて

内会議が乱闘騒ぎになりかねない為に、結局このアンバラな生活はしばらく改善出来なさそう。しかし全ての原因は自分の贅沢なワガママだ。そう考えたなら何からも手を引く事は出来ない。だからどんな形で終わろうと、関わった物は全部後悔しない様に頑張ろうと思う。当り前かもしれないけれど。

出発

古西 小百合

谷川俊太郎さんは二十歳を「永遠に終わらない大人への出発点」と言っています。何だかワクワクしませんか。今日から私も、大人へ向かって一歩ずつ歩いていこうと思います。

晴着も いろんな華やかなお祝いの花束もそれだけではきみをおとなにはしてくれない。どうやら成人式は大人になったことを祝うためのものではないようです。子ども時代が終わりを迎え、大人が始まるだけのことだと知りまし



イベント情報

- 久が原東自治会合同新年会
【実施日】1月5日(土) 12時30分
【場所】池上会館
 - 久が原西自治会新年会
【実施日】1月13日(日) 13時
【場所】久が原会館
 - とんど焼き
【実施日】1月14日(月) 正午
【場所】久が原西部八幡神社
 - お正月もちつき大会
【実施日】1月20日(日) 10時
【場所】松仙小学校
 - くがはら冬まつり
【実施日】1月27日(日) 10時
【場所】久原小学校
 - 青少対子どもレク大会
【実施日】3月1日(土) 9時30分
【場所】大森第十中学校
 - 大森第十中学校卒業記念講演会
【実施日】3月6日(木)
【場所】大森第十中学校
- ◇問合せ先: (3752)4271
久が原特別出張所

防災防災シリーズ⑬ 緊急地震速報を ご存知ですか？



気象庁では、現在、家庭での利用などを検討し、できるだけ早期に広く国民の皆様へ「緊急地震速報」の提供を開始できるように準備を進めています。

「緊急地震速報」とは、地震の発生及びその規模を素早く知り、地震による強い揺れが始まる数秒〜数十秒前に、強い揺れが来ることをお知らせすることを指す新しい情報です。ただし、震源に近い地域では緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。

緊急地震速報を有効に活用するためには、緊急地震速報を見聞きした際に適切に行動できるような「訓練」しておく必要があります。

適切な行動の例としては、あわてず落ち着いて行動することが基本となります。

家庭内においては、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れます。また、駅・デパートなどの集客施設では、あわてて出口や階段に殺

にしないように注意しましょう。なぜ揺れる前に地震の発生をお知らせできるのかをご説明しましょう。

地震の揺れは、震源から波紋のように波(地震波)として伝わっていきます。地震波は、主にP波とS波があり、最初にP波が伝わり、次に強い揺れのS波が伝わります。

地震による被害は、主にS波によってもたらされます。

震源近くで地震(P波)を感知すると、直ちに緊急地震速報を発進するための処置を開始します。気象庁は、緊急地震速報をテレビ・ラジオなどの報道機関や防災機関などに通知し、その情報が直ちに市民の皆様へ伝達されるというシステムになっています。

皆様は、テレビを見ているときに、「緊急地震速報、強い揺れが来ます」という揺れの予告が出たら、直ちに危険回避行動が取れるように、普段から訓練しておくことが大切です。

(佐々木琢磨)

初詣は地元で

★午前0時〜午前1時30分頃まで

道々橋 八幡神社
・お札
・御神酒

出世観音
・お札(先着350名)

西部 八幡神社
・干支の絵馬(一家庭1枚 先着600枚)
・御神酒・甘酒

東部 八幡神社
・御神酒
・おしるこ

初詣めぐりも楽しんで♪

久が原の人シリーズ⑬ 林八重子さん

はがき絵サークル「いちよう」



林八重子さんは、久が原の地域に根付いて、自分が出来る事を、何かの力になれる事を、いつも考えていらしたと思います。そして、はがき絵をやるうと決心したのだと思います。

平成九年に、はがき絵「いちよう」と言う、一粒の種を蒔きました。

以前の久が原会館(現ライラック会館)は座敷でみんなが座って描きました。懐かしい思い出です。小さなサークルでした。一人が一人を連れ

久が原の木シリーズ⑧ 白樺の木

久が原二丁目のさるお宅にある写真の木は、皆さんご存知の白樺です。私たちは普通「シラカバ」と呼んでいます。これは別名で正式の和名は「シラカンバ」と呼ぶそうです。和名の由来は樹皮が白いこと、「アイヌ語が起源の「カバ」の木」という意味だそうだが、いつのまにか「シラカンバ」が「シラカバ」の名称になったようです。



てくる、こんな出発でした。水をやり、日が当り、風も吹き、徐々にですが育ってきました。お知らせも百号作りました。そんな中でも、笑顔と笑いを忘れなかったのが、林さんでした。

わたくし事ですが、母がいつも天をみて笑える人になりなさいと躰けられたことを思い出します。

和気あいあいのサークルも一枚の葉が三十枚となり、十年の月日と共に、大きな木に育ちました。最初の思いが実現しました。胸を張って言えます。

サークル「いちよう」も林さんの暖かさや豊富な経験に助けられて、その間に小冊子八巻発行しました。

昨年、大展覧会も開きました。久が原の人達始め多くの方々にみて頂けました。

わたくし達にとって師であり、大先輩であり、仲間であり目標です。笑顔は出来そうで出来ない業です。自然体で、出来てこそ達人だと思えます。間近にお手本がある事の幸せを日々感じている近頃です。

(茨木 順)



●作品その1



●作品その2

編集後記

明けましておめでとうございませう。今年も新井翠信さん描く干支でスタートです。ネズミはちよこまかと忙しいのであわただしい年になりそうです。久がはら「は」七十一号と年齢を重ねましたので腰を据えていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

(高橋房子)

(小倉敦司)